

## 第18回吉川市民まつり 2013「明日があるみんなのまち吉川市民まつり」 で自衛隊をPR（埼玉）



埼玉地本（本部長 山本方之1等空佐）は、11月17日（日）埼玉県吉川市民交流センター「おおしす」において開催された、第18回吉川市民まつり2013「明日があるみんなのまち吉川市民まつり」で、募集広報を実施した。

平成8年（1996年）に「吉川市民まつり」として始まり18回目となる今回は「明日があるみんなのまち吉川市民まつり」をテーマに明日に希望を持ち、みんなが楽しめる市民まつりを目指し「健康福祉」「商工」「農業」「交通安全」「市民交流」の5部門で実施された。

今回初参加となる埼玉地本の広報ブースでは、自衛隊の活動状況のDVD放映、陸海空3自衛隊の写真パネルや南極の氷、ペーパークラフトの展示とともに、ミニ制服・迷彩服とサイポン（陸）との撮影会、自衛官募集の啓発グッズの配布が実施された。



当日は気温十八度の暖かい陽気で、まつり開始前から自衛隊ブースに来場者が訪れるほど注目度が高く、絶え間なく訪れる来訪者に、広報官は笑顔で積極的に対応し広報ブースの案内や自衛隊のPR活動を積極的に行っていた。

広報ブースに展示した南極の氷や展示パネルを興味深く眺めていた21歳の男性は、「貴重な体験をさせていただきました。僕は大学3年ですが、来年は一般幹部候補生を受験し社会に貢献したい。」と意気込みを話していた。

埼玉地本は今後も効果的な広報イベントを実施し、積極的に募集基盤の強化につなげていきたいと考えている。

